

令和7年度 社会福祉法人みねやま福祉会 事業報告

1 はじめに

令和7年度は、わが国の社会構造が大きく変化する「2025年」という大きな節目を迎え、福祉業界にとっても労働力不足の深刻化や依然として続く物価・エネルギー価格の高騰など、経営環境の厳しさが一段と増した一年となりました。このような激動の時代において、当法人は「NEXT VISION 2030」を指針とし、変化を恐れず「新しいフクシ」を創造するための歩みを止めることなく進めてまいりました。

経営面におきましては、物価高騰による経費増大等に対し、毎月の管理職会議にて経営状況の確認をし、財務分析に基づいた迅速な対応策を講じるなど、財務マネジメントの強化に取り組みました。数字を正しく理解し、早期に的確な経営判断を下す仕組みを構築するために、管理職研修で財務マネジメントセミナーを実施するなど、持続可能な法人運営の基盤づくりに取り組みました。

施設整備・事業展開では、児童養護施設「てらす峰夢」にて、さくらの家（改築）およびたんぽぽの家（新築）の工事が無事完了しました。これにより、子どもたち一人ひとりに個室が確保され、より家庭的で安心できる養育空間を提供することが可能となりました。また、はごろも苑の旧デイサービスエリアを活用し、障害福祉サービス事業所「ぐるり」を開設いたしました。「就労継続支援B型」と「放課後等デイサービス」を併設するこの拠点は、地域における新たな「ごちゃまぜの福祉」の拠点として期待されています。

人材確保・育成においては、これまでの新卒採用に加え、長年の課題であったキャリア採用が大幅に増加するという成果が得られました。求職者の多様なニーズに柔軟に応える採用戦略が実を結び、募集枠を超える応募の中から理念に共感する優秀な人材を迎え入れることができています。また、入職1年未満の退職者が3年連続で「0名」となるなど、新人育成面においても着実な成果が見られました。内定承諾率についても、一般企業平均を上回る高い水準を維持しており、内定者への丁寧なフォローや職員の幸福追求を掲げた職場環境のアップデートが着実に浸透しています。さらに、令和8年度にはインドネシアおよびインドから計8名の特定技能外国人を新たに迎え入れる準備も整い、法人職員の多様性はさらに加速していきます。

私たちはこれからも、当事者の皆様や地域の方々から「みねやま福祉会があってよかった」と言ってもらえるよう、全職員が一丸となって地域の人々の暮らしの困り事を解決し、新しい福祉の創造に挑戦していきます。

以下、主な項目について報告します。

2 事業実績

(1) 利用者の満足度向上と地域から頼られる組織になるために、ケア実践の質を向上する。

①各部門における職種別育成研修を実施しました。また、従来の法人内実一読研究発表会を「TANQ-LAB（タンキューラボ）」へと刷新し、現場での実践に基づいたケアの向上につながる取り組みにフォーカスすることで、日々のケアの根拠を語れる組織づくりを推進しました。

②高度な支援を要するケースに対しても断らず対応できる体制を目指し、法人内研修「FUKUSHI STUDIES」をケースカンファレンス方式へと変更しました。多角的な事例検討を重ねることで、職員の困難事例に対するマインド・ナレッジ・スキルの習得を図りました。

③食を通じた利用者の生活の質およびケアの実践向上を目的に、管理栄養士・栄養士が中心となり、SNSを通じた食の意義の発信や、地元企業と連携した食材に関するワークショップを開催しました。単においしい食事の提供にとどまらず、食からのアプローチによるケアの具現化に取り組みました。

(2) 職員の働き甲斐の向上と暮らしを守るために、職員の処遇改善をする。

- ①職員の処遇改善および暮らしの安定を図るため、各種補助金等を活用した一時金の支給を実施しました。今後はこれらの取り組みを原資や基盤として基本給や各種手当の見直しを進め、職員が将来にわたって安心して働き続けられる、安定した生活基盤の構築を目指します。
 - ②職員の働きがい向上のため、各等級における評価項目の整理や評価基準の見直しを推進し、役職ごとに求められた業務の明確化に取り組みました。
- (3) 持続可能な法人運営を行うために、各事業所の経営が安定する様に改善する。
- ①管理職を対象とした財務マネジメント研修を実施しました。財務諸表の見方や各事業所の状況把握と今後の具体的な改善取り組みに向けた検討を行いました。
 - ②人員減が発生した際にも、事業所間の機動的な異動や応援勤務体制を敷くことで業務を補完しあい、法人全体での適切な人員配置と安定運営に努めました。
 - ③月次の稼働率・人件費率・経費率の各指標を施設長会にて定期確認・共有し、状況把握と対応に向けた検討を行いました。
- (4) 新たな挑戦を楽しめる文化を醸成するために、法人ビジョンに共感した人材の確保・定着・育成に取り組む。
- ①新しい特定技能支援機関との契約を締結しました。これまで受け入れていたフィリピンからの技能実習生、特定技能外国人に加え、新たにインドネシアから6名、インドから2名の特定技能外国人の採用をしました（入国は令和8年度の予定）。これにより、多様な海外人材が安定して活躍できる職場環境の構築を進めていきます。
 - ②即戦力となる中途人材を確実に確保・定着させるための採用戦略の一環として、採用プロセスにおける「職場見学」の実施を必須化しました。入職前に実際の現場や業務内容への理解を深めてもらうことで、雇用のミスマッチを未然に防ぐ取り組みを徹底しました。
 - ③高卒新卒者の確保に向け、高校生対象の進路説明会へ継続して参加しました。本年度の採用には至りませんでしたが、将来的な高卒人材の受入れと定着を見据え、入職後の育成の土台となるOJT研修の整備を進めました。
 - ④個々の職員が目標達成を通じて成長できる環境を整えるため、OJT担当者の育成を目的とした研修を実施しました。さらに、法人で共通した人材育成をするための一歩として、高齢部門でのOJTの進め方を整備しました。
- (5) より効率的で生産性の高いバックオフィス業務を行うために、管理業務や社内コミュニケーションツールのDXを推進する。
- ①勤怠管理システムの導入に向けての検討を行い、令和8年度より現在の労務管理システムを変更し、労務・勤怠を一体的に運用できる体制を整えました。これにより、事務負担の軽減と、サービス向上への注力を目指します。
 - ②全職員を対象とした情報共有の迅速化に向け、まずは管理職及び法人サポート部の職員へGoogleワークスペースのアカウントを発行し、情報共有体制を構築しました。その他の一般職員へのアカウント付与についても、今後順次拡大していく予定です。
 - ③各事業所のクレジットカードを作成し、キャッシュレス決済の推進をしました。これにより小口現金の管理による負担が軽減され、今後はさらなる業務効率化と工数削減に向けて運用手法を検討していきます。
- (6) 地域の暮らしのニーズに応え続けるために、事業所の移転計画並びに新規事業の立ち上げを推進する。
- ①さつき園移転後の事業内容やコンセプト等の検討を開始し、具体的な計画作成に着手しました。あわせて、法人創立100周年に向けたプロジェクトを発足し、既存の建物の状況把握など長期的な事業展開の検討を開始しました。
 - ②土地取得の進捗に合わせ、スムーズに事業化へ移行できるよう、障害者グループホームの整備に向けた事業計画・コンセプトの策定をさつき園の移転計画と並行して開始しました。

③令和7年度の京都府里親支援センター設置運営事業者の公募への応募は見送りました。次回以降の応募に向けて、計画づくりを開始しています。

(7) 主な設備整備

空調室外機修繕（峰山乳児院）、放送機器更新、スチームコンベクションオープン設置、乳児テラス長尺シート張付け（ゆうかり子ども園）、車両更新（もみの木）、田植機・コンバイン導入（ぐるり）、空調設備更新工事（弥栄はごろも苑）

(8) 主な施設整備について

さくらの家・たんぽぽの家改築工事（てらす峰夢）、廊下・保育室床改修工事（吉津子ども園）

3 理事会（12回開催）

No.	開催年月日	出席数	内 容
1	R07. 04. 18	8 人	・新規事業の計画について ・協力雇用主制度への登録について
2	R07. 05. 20	8 人	・新規事業の計画について ・てらす峰夢 たんぽぽの家・さくらの家 改築工事計画及び資金計画について ・契約の締結について ・その他 報告事項
3	R07. 06. 09	9 人	・令和6年度事業報告(案)について ・令和6年度決算報告(案)について ・評議員選任・解任委員会委員の招集について ・定時評議員会の招集について ・令和7年度昇給及び夏季賞与の支給について ・契約の締結について ・役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改正について
4	R07. 06. 20	9 人	・評議員候補者の選任について ・理事・監事候補者の選任について ・契約の締結について ・理事及び監事の報酬等について
5	R07. 06. 25	9 人	・理事長の互選について ・会長・常務理事の選任について ・定年による退職の特例の適用者について ・契約の締結について諸規程の改正について
6	R07. 07. 24	9 人	・てらす峰夢 たんぽぽの家・さくらの家改築工事資金の借入申込について ・てらす峰夢 たんぽぽの家・さくらの家改築工事の入札について ・契約の締結について ・諸規程の改正について ・その他 報告事項
7	R07. 08. 28 書面決議	9 人	・工事請負契約の締結について
8	R07. 09. 29	8 人	・ぐるり 農機具購入の借入申込について ・弥栄はごろも苑 空調設備更新工事の資金計画及び借入申込について ・弥栄はごろも苑 空調設備更新工事の業者選定委員会の設置について ・契約の締結について ・諸規定の制定及び改正について ・その他 報告事項
9	R07. 10. 07 書面決議	9 人	・弥栄はごろも苑 空調設備更新工事の入札について

No.	開催年月日	出席数	内 容
10	R07. 11. 26	9 人	・ 弥栄はごろも苑空調設備更新工事の資金計画及び借入金額の変更について ・ 弥栄はごろも苑空調設備更新工事の工事請負契約の締結について ・ もみの木車両購入の売買契約の締結について ・ 車両メンテナンス付きリース契約の締結について ・ 勤怠管理システムの導入について ・ 年末賞与について ・ その他 報告事項
11	R08. 01. 29	8 人	・ 認定こども園の定員変更について ・ てらす峰夢・弥栄はごろも苑の工事代金支払に係るつなぎ融資について ・ ぐるり稲作事業の機械設備更新に係る売買契約の締結について ・ 車両メンテナンス付きリース契約の締結について ・ の特例適用者について ・ 施設長の選任について ・ 評議員会の招集について ・ その他 報告事項
12	R08. 03. 24	9 人	・ 令和 7 年度補正予算（案）について ・ 令和 8 年度事業計画（案）について ・ 令和 8 年度予算（案）について ・ 定款変更について ・ 役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改正について ・ 乳児等通園支援事業の実施について ・ 諸規程の改廃および制定について ・ 福祉医療機構借入金に係る保証人不要制度への切り替えについて ・ 契約の締結について ・ その他 報告事項

4 評議員会（2回開催）

No.	開催年月日	出席数	内 容
1	R07. 06. 25	15 人	・ 令和 6 年度事業報告について ・ 令和 6 年度決算報告（案）について ・ 理事・監事の選任について ・ 役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改正について ・ 理事及び監事の報酬等について
2	R08. 03. 27	16 人	・ 令和 7 年度補正予算（案）について ・ 令和 8 年度事業計画（案）について ・ 令和 8 年度予算（案）について ・ 定款変更について ・ 役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改正について

5 法人監事監査（令和 6 年度事業分）

R07. 06. 02／06. 03／06. 04／06. 05・・・ 各事業所、法人サポート部

6 監査・指導・第三者評価・外部評価

(1) 京都府指導監査（実地）

- R07.09.05 大宮北保育所（京丹後市との共同重点監査）
- R07.11.17 峰山乳児院・てらす峰夢（重点監査）
- R07.11.20 吉津子ども園・吉津子ども園分園（重点監査）
- R07.12.18 府中子ども園（重点監査）
- R07.12.19 ゆうかり乳児保育所（京丹後市との共同重点監査）
- R08.01.19 はごろも苑・弥栄はごろも苑
- R08.01.23 ゆうかり子ども園（京丹後市との共同重点監査）

(2) 京都府指定障害福祉サービス事業者に対する運営指導

- R07.11.28 ぐるり（就労継続支援B型、放課後等デイサービス）
- R08.02.13 さつき園（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）

(3) 集団指導

介護保険サービス（動画及び資料閲覧）

はごろも苑、弥栄はごろも苑、マ・ルート（エルダータウン）

障害福祉サービス（資料閲覧）

はごろも苑、さつき園、すずらん、もみの木、マ・ルート（ワンダーハーバー）、ぐるり

地域密着型サービス・居宅介護支援（資料閲覧）

はごろも苑、弥栄はごろも苑、もみじ、かえで、ないきの家、さかいの家、みやづの家

(4) 第三者評価

- R07.12.19 峰山乳児院・てらす峰夢
- R08.03.11 弥栄はごろも苑

7 人材の確保について

(1) 採用活動

内 容	回 数	訪問者延べ人数
就職フェア等への参加	16	216
リモート見学	3	20
法人就職説明会	22	25
THE 福祉セミナー<5 種類>	5	27
1DAY 法人見学ツアー	21	29
体感型インターンシップ	9	17
共創型オープンカンパニー	4	8
連携インターンシップ（南山城学園）	1	6
WEB トーク	21	21
合 計	102	369

(2) 正職員採用試験

No.	日程	募集人数	受験者数	合格者数	辞退者数	採用者数
1	早期選考 (R7 年度実施)	新卒：20 キャリア：15	7	6	4	2
2	春 A		19	9	3	6
3	春 B		1	1	1	0
4	夏		2	2	0	2
5	秋(9 月)		1	1	0	1
6	秋(随時)		1	1	0	1
7	キャリア(随時)		14	11	1	10
	合 計		45	31	9	22

(3) 内定者向け事業

No.	日付	内容	会場	参加者数
1	R07.04～R08.02	内定者 WEB トーク	オンライン会議室 ZOOM	27
2	R07.07～R08.12	内定者交流会（任意参加）	オンライン会議室 ZOOM・京都市（対面）	20
3	R07.06～R07.12	内定者法人見学	各施設	13
4	R07.08～R07.10	探求チケット（現場体験等）	法人内現場・丹後地域	6
5	R07.10.18	内定者交流・内定式前夜祭	海と星が見える丘公園	9
6	R07.10.19	内定式	マ・ルート	9
7	R06.5～R07.2	内定者マンタ面談	オンライン会議室 ZOOM	32（延べ）
8	R08.02.14	車相談会	オンライン会議室 ZOOM	6

(4) 採用者数と退職者数（常勤職員）

部門	採用者数	退職者数	増減
児 童	8（正職 5、契約 3）	20（正職 13、契約 7）	-12（正職 -8、契約-4）
障がい	7（正職 7、契約 0）	7（正職 6、契約 1）	±0（正職 +1、契約-1）
高 齢	10（正職 3、契約 7）	10（正職 5、契約 5）	±0（正職 -2、契約+2）
事務員	2（正職 2、契約 0）	3（正職 2、契約 1）	-1（正職±0、契約-1）
合計	27（正職 17、契約 10）	40（正職 26、契約 14）	-13（正職 -9、契約 -4）

8 職員研修

法人研修費 14,209,462 円

法人内研修

単位：人

対象職員		内容	講師	人数
新任職員	1	新任基本研修 ① ダイアログ（導入・互いを知る）・対話セミナー・チームビルディング企画 ② ワークショップ（チームワーク・自己覚知） 講義（法人理解） ③ 講義（諸規程等・新任に期待すること） ④ ワークショップ（福祉をひらく）	サポーター部 人事課 SKIPPA	14
	2	理事長講和：社会福祉の可能性と法人のこれから 【社会福祉の理解編】	櫛田理事長	14
	3	権利擁護研修	櫛田理事長	14
	4	ポジティブシンキング	櫛田理事長	14
	5	遊びと対話 MISSION 型研修導入（記事作成）	櫛田理事長 人事課	14
	6	半年間の振り返りワーク・成功への障害	櫛田理事長	14
	7	専門職とはどうあるべきか	櫛田理事長	14
	8	社会人基礎力	櫛田理事長	14
	9	ストーリーテリング（発表）	人事課	13
FUKUSHI STUDIES （社会的養護） （保育） （障がい） （高齢）	1	第 1 回 講義（導入）・ケアカンファレンス（社会的擁護）	櫛田理事長	13
	2	第 2 回 ケアカンファレンス（障がい）		15
	3	第 3 回 ケアカンファレンス（高齢）		16
	4	第 4 回 ケアカンファレンス（保育）		14
	5	第 5 回 ケアカンファレンス（社会的擁護）		15
	6	第 6 回 ケアカンファレンス（障がい）		13
	7	第 7・8 回 ケアカンファレンス（高齢）・（保育）		15